

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 37 号

第 37 週 (9月 11日 ~ 9月 17日)

発行年月日:平成18年(2006年) 9月 22日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

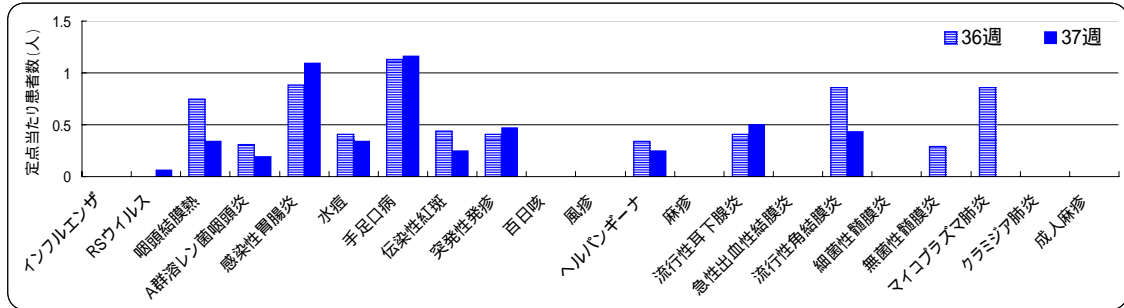
今週の感染症発生動向

腸管出血性大腸菌感染症およびA型肝炎(食中毒事例関連)の発生は減少傾向 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~37週)

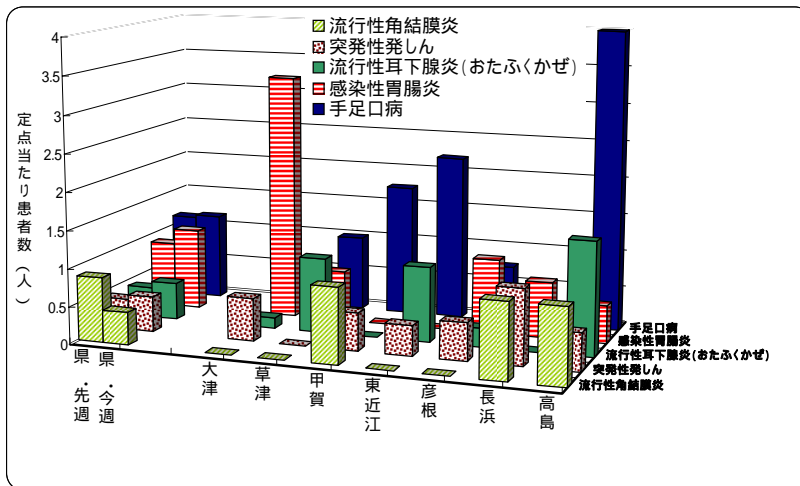
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(9月4日~9月10日)の報告数よりさらに減少していますが、感染性胃腸炎は増加し、手足口病、突発性発しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)およびRSウイルス感染症は微増となっています。また、減少した疾患は咽頭結膜熱、水痘、伝染性紅斑、流行性角膜炎等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

全数把握対象疾患では、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症1名および四類感染症のA型肝炎4名(3名は食中毒事例関連)の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第37週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、手足口病、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎、突発性発しん、流行性角膜炎の順に多くなっています。手足口病は甲賀および東近江で急増し、高島では多い状態が続いています。感染性胃腸炎は大津で多くなっています。

滋賀県における全数報告感染症の概要(平成18年第1~37週)

第32~37週(8/7~9/17)における全数報告感染症の発生状況は、
二類感染症---細菌性赤痢 1名(検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分)、
コレラ 1名(疑似症患者)
三類感染症---腸管出血性大腸菌感染症 18名
四類感染症---レジオネラ症 1名、E型肝炎 1名、A型肝炎 18名(17名は食中毒事例関連)
となっています(第1~37週の詳細については全数報告感染症の概要参照)。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (37週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (37週)	全国 (37週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	1	40	0	54
	細菌性赤痢	(*)2 1	(*)3 5	327	(*)4 7	556
三類感染症	腸チフス	0	0	53	0	50
	腸管出血性大腸菌感染症	1	39	2,873	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	1	52	0	40
	A型肝炎	4	20	272	1	168
	オウム病	0	0	16	1	34
	デング熱	0	0	35	1	73
	マラリア	0	0	46	0	66
	レジオネラ症	0	10	349	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	7	533	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	181	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	121	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	87	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	7	914	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	63	0	81
	梅毒	0	3	434	0	555
	破傷風	0	0	81	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	50	2	65
	急性脳炎	0	1	125	2	180

*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分です。

*3:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

*4:検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第37週(9/11～9/17) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: エキノコックス症 1例	五類感染症: クリプトスポリジウム症 1例
二類感染症: 細菌性赤痢 8例	つつが虫病 1例	ウイルス性肝炎 3例
コレラ 1例	日本紅斑熱 4例	後天性免疫不全症候群 15例
パラチフス 1例	レジオネラ症 8例	クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
腸チフス 1例	レプトスピラ症 2例	劇症型溶血性
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 107例	五類感染症: アメーバ赤痢 9例	レンサ球菌感染症 1例
四類感染症: A型肝炎 4例	梅毒 6例	バンコマイシン耐性
	破傷風 3例	腸球菌感染症 2例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第32～37週、8/7～9/17)

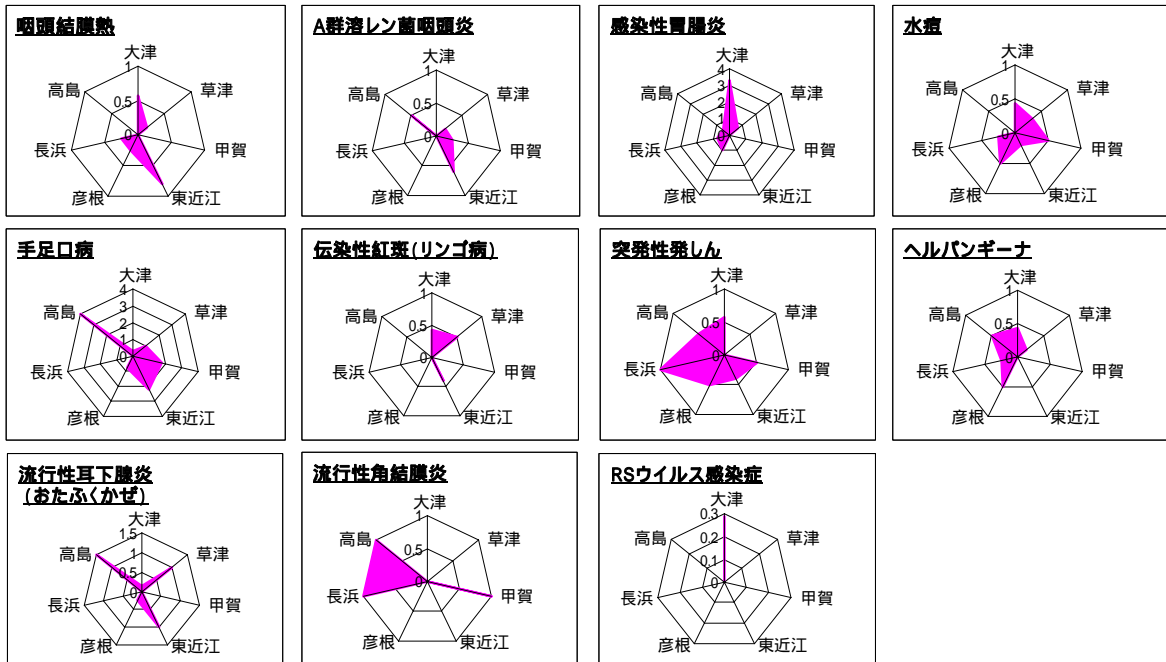
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	32週	33週	34週	35週	36週	37週	週					
	(8/7～)	(8/14～)	(8/21～)	(8/28～)	(9/4～)	(9/11～)	33	34	35	36	37	
インフルエンザ	0.02	0	0	0	0	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0.06						
咽頭結膜熱	0.84	0.38	0.56	0.66	0.75	0.34						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	0.16	0.28	0.19	0.31	0.19						
感染性胃腸炎	1.00	0.78	1.22	0.88	0.88	1.09						
水痘	0.97	1.06	0.63	0.38	0.41	0.34						
手足口病	4.13	1.88	1.72	1.19	1.13	1.16						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.44	0.34	0.59	0.56	0.44	0.25						
突発性発しん	0.34	0.38	0.78	0.56	0.41	0.47						
百日咳	0	0	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	1.00	0.28	0.47	0.31	0.34	0.25						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.34	0.53	0.47	0.66	0.41	0.50						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	1.00	3.57	0.86	1.00	0.86	0.43						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0.14	0.29	0.29	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.29	0.86	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第37週, 9/11~9/17)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.34	0.57	0.17	0	0.80	0.25	0.25	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.19	0	0.17	0.25	0.60	0	0	0.50	
感染性胃腸炎	1.09	3.29	0.67	0	0	1.00	0.75	0.50	
水痘	0.34	0.43	0.33	0.50	0.20	0.50	0.25	0	
手足口病	1.16	0.29	1.00	1.75	2.20	0.75	0	4.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.25	0.43	0.50	0	0.40	0	0	0	
突発性発しん	0.47	0.57	0	0.50	0.40	0.50	1.00	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.25	0.43	0.17	0	0	0.50	0.25	0.50	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.50	0.14	1.00	0	1.00	0.25	0	1.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	0	1.00	0	0	1.00	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加、
■ は定点当たり患者数が非常に多い状態
 0 0.5 1 1.5
 定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



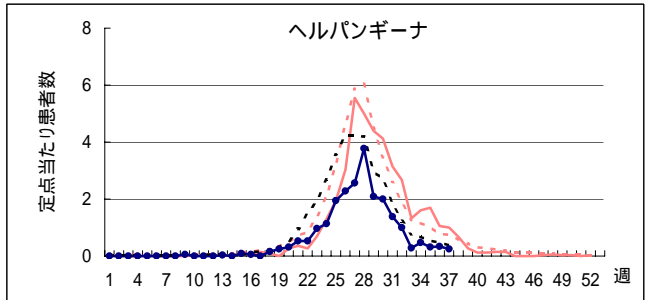
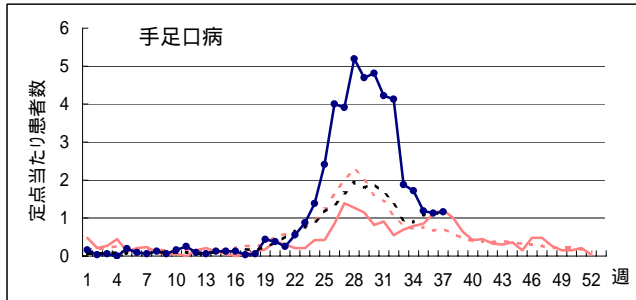
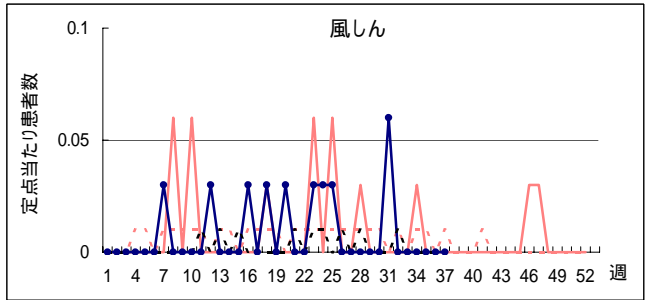
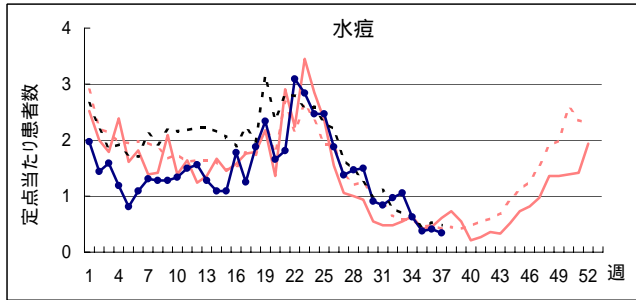
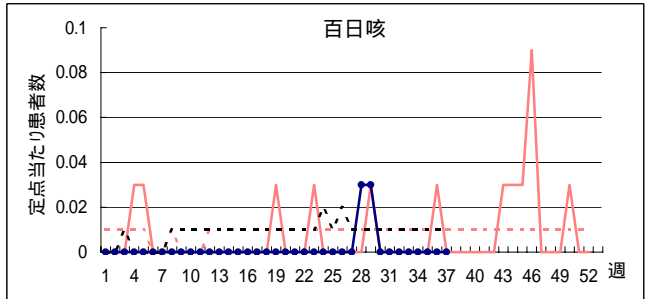
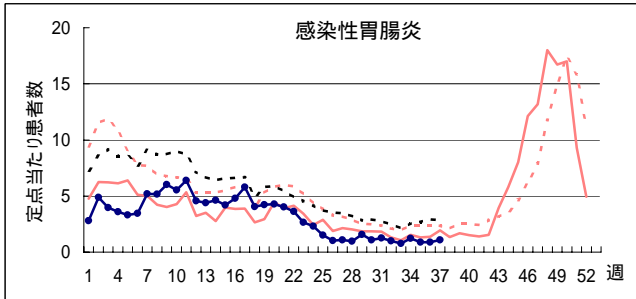
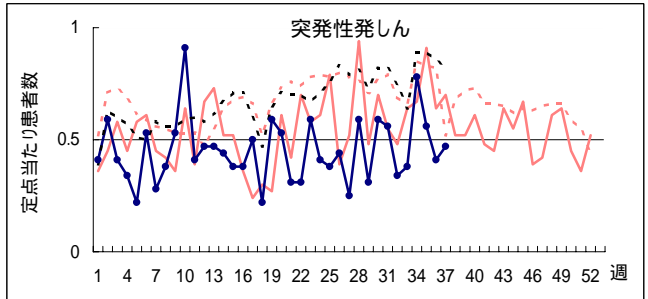
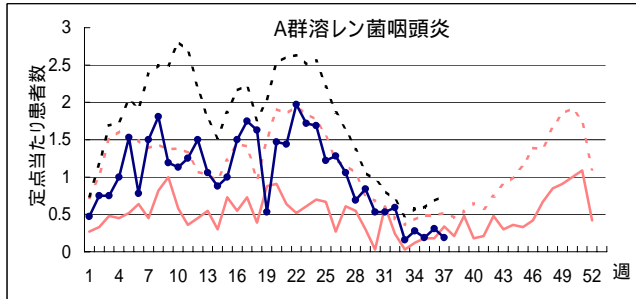
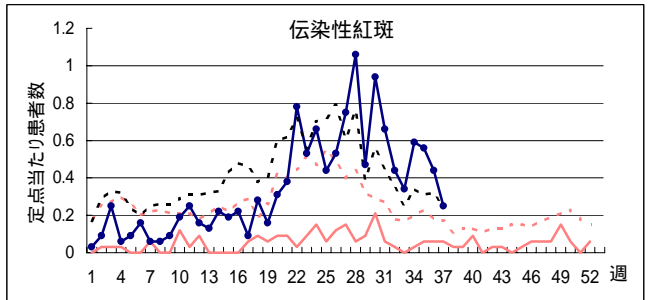
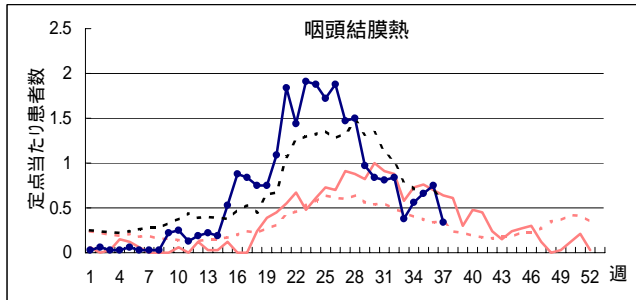
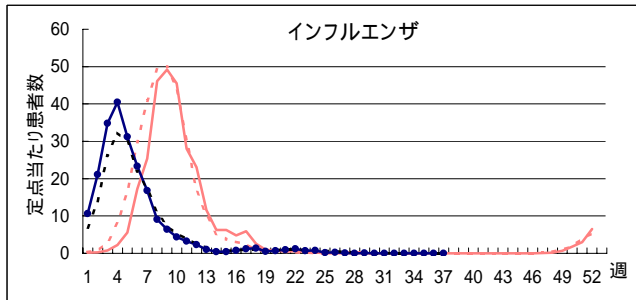
今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- 咽頭結膜熱-----先週、報告の多かった大津で急減しています。また、県全体では先週より半減し、昨年の同時期とほぼ同様の発生状況となっています。
- A群溶レン菌咽頭炎----東近江以外の保健所で先週より少なくなっています。
- 感染性胃腸炎-----草津では先週より減少し、大津では先週より増加しています。
- 水痘-----県全体では先週よりさらに減少し、定点当たり患者数は0.34となり今年になって最も少なくなっています。
- 手足口病-----先週、報告の多かった長浜および高島では減少していますが、甲賀および東近江では増加しています。
- 伝染性紅斑-----先週、報告の多かった彦根からの報告はありません。また、県全体としては3週連続して減少しています。
- 突発性発しん-----甲賀、東近江および長浜で先週より増加し、県全体では微増となっています。
- ヘルパンギーナ-----高島で先週よりかなり減少しています。
- 流行性耳下腺炎-----草津、東近江および彦根で先週より多くなっています。
- 流行性角結膜炎-----甲賀、長浜および高島から報告されています。
- RSウイルス感染症-----大津から報告されています。

全数報告感染症の概要(平成18年第1週～第37週)

感染症類型	疾患名	1～31週の 累積報告数	32～37週の 報告年月日	概 要		
				菌種、血清型等	推定感染地域	推定感染源(原因)・ 感染経路等
一類感染症	報告なし	0				
二類感染症	コレラ(疑似症)	0	H18.8.18	ナグ・ピブリオ	中華人民共和国	経口感染
	細菌性赤痢	4 ^(*)	H18.9.11 ^(*)	菌種:ソクネ	ネパール	不明
(*)検査法第26条の3に基づく検査所長から滋賀県知事への通知による						
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21	H18.8.10	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+) VT2(+)	日本国内	経口感染
			H18.8.17	血清型:O26 産性毒素型:VT1(+)	日本国内	経口感染
			H18.8.18	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+) VT2(+)	日本国内	不明
			H18.8.19	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+) VT2(+)	日本国内	不明
			H18.8.20	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+) VT2(+)	日本国内	不明
			H18.8.21	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+) VT2(+)	日本国内	不明
			H18.8.21	血清型:O26 産性毒素型:VT1(+)	日本国内	その他
			H18.8.21	血清型:O26 産性毒素型:VT1(+)	日本国内	その他
			H18.8.24	血清型:O157 産性毒素型:型不明	日本国内	不明
			H18.8.24	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+) VT2(+)	日本国内	経口感染
			H18.8.25	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+) VT2(+)	日本国内	不明
			H18.8.28	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+) VT2(+)	日本国内	不明
			H18.9.1	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)	日本国内	不明
			H18.9.4	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+) VT2(+)	日本国内	不明
			H18.9.5	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)	日本国内	不明
			H18.9.5	血清型:O157 産性毒素型:VT2(+)	日本国内	8月25日生肉の摂取
			H18.9.6	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)	日本国内	不明
			H18.9.12	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+) VT2(+)	日本国内	不明
			* VT1:ベロ毒素1型 VT2:ベロ毒素2型			
四類感染症	E型肝炎	0	H18.9.5		日本国内	不明
	A型肝炎	2	H18.9.4		日本国内	経口感染
			H18.9.4		日本国内	経口感染
			H18.9.4		日本国内	経口感染
			H18.9.4		日本国内	経口感染
			H18.9.5		日本国内	経口感染
			H18.9.6		日本国内	経口感染
			H18.9.6		日本国内	経口感染
			H18.9.6		日本国内	経口感染
			H18.9.7		日本国内	経口感染
			H18.9.7		日本国内	経口感染
			H18.9.8		日本国内	経口感染
			H18.9.8		日本国内	経口感染
			H18.9.8		日本国内	経口感染
H18.9.11		日本国内	経口感染			
H18.9.11		日本国内	経口感染			
H18.9.12		日本国内	経口感染			
H18.9.15		日本国内	経口感染			
H18.9.19		パキスタン	経口感染			
	レジオネラ症	9	H18.8.9		日本国内	水系感染
五類感染症	アメーバ赤痢	7	報告なし			
	劇症型溶血性レンサ球菌 感染症	4	報告なし			
	後天性免疫不全症候群	7	報告なし			
	ジアルジア症	1	報告なし			
	梅毒	3	報告なし			
	急性脳炎	1	報告なし			

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第37週、H18.1.2～H18.9.17)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第37週、H18.1.2～H18.9.17)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●—●—●—
全国 - - - - -

